



FRANKLIN
TEMPLETON

ブランディワイン・グローバル 株式ファンド（SMA専用）

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年10月15日～2025年7月18日（当初、2031年9月12日）	
運用方針	主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算時（毎年9月15日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

償還報告書（全体版）

繰上償還

第4期 償還日 2025年7月18日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ブランディワイン・グローバル株式ファンド（SMA専用）」は、2025年7月18日に約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。
ここに謹んで運用の経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、厚くお礼申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込配分	み騰落率	騰落率	騰落率				
(設定日)	円 銭	円	%		%	%	%	%	百万円
2021年10月15日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	—	1
1期(2022年9月15日)	10,732	0	7.3	10,714	7.1	96.7	—	—	348
2期(2023年9月15日)	12,936	0	20.5	12,646	18.0	97.2	—	—	202
3期(2024年9月17日)	13,979	0	8.1	14,806	17.1	95.0	—	2.0	110
(償還時)	(償還価額)								
4期(2025年7月18日)	16,020.37	—	14.6	17,703	19.6	—	—	—	42

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の株式で構成されています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他の知的財産権は、全てMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首)	円 銭	%		%	%	%	%
2024年9月17日	13,979	—	14,806	—	95.0	—	2.0
9月末	14,513	3.8	15,466	4.5	94.9	—	2.1
10月末	15,232	9.0	16,501	11.4	95.7	—	2.1
11月末	14,804	5.9	16,463	11.2	95.7	—	2.0
12月末	14,908	6.6	17,156	15.9	95.9	—	2.0
2025年1月末	15,316	9.6	17,175	16.0	95.2	—	2.1
2月末	14,848	6.2	16,367	10.5	95.6	—	2.2
3月末	14,947	6.9	15,861	7.1	93.8	—	3.1
4月末	14,282	2.2	15,173	2.5	94.3	—	2.1
5月末	15,131	8.2	16,250	9.7	93.8	—	2.0
6月末	15,672	12.1	17,017	14.9	95.2	—	1.9
(償還時)	(償還価額)						
2025年7月18日	16,020.37	14.6	17,703	19.6	—	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

○運用経過

設定来の基準価額等の推移

(2021年10月15日～2025年7月18日)



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）です。

○基準価額の主な変動要因

設定来の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）は、プラスとなりました。

株式要因と為替要因がいずれもプラスとなりました。

設定来の米国株式相場は、上昇しました。

信託期間の前半は、新型コロナウイルスの変異型に対する警戒感などが株価の下押し圧力となる一方、米企業による好調な決算発表などが株価の上昇要因となりました。しかし、その後は米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まったことや、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて、株価は下落しました。

信託期間の半ばは、人工知能（AI）銘柄の将来性に対する期待感から半導体関連銘柄などのハイテク株が上昇したことや、FRBによる利上げサイクルの終了と2024年の複数回の利下げへの期待が高まったことなどが、株式相場を押し上げる要因となりました。

信託期間の後半は、トランプ米政権の関税政策を背景に、世界的な景気後退懸念が高まったことなどが株価の下落要因となりました。一方、米国と主要貿易相手国との関税交渉に進展がみられると、株式市場は上昇に転じました。

設定来のドイツ株式相場は、上昇しました。

信託期間の前半は、新型コロナウイルスの変異型に対する警戒感が広がったため、株価は上値の重い展開となりました。また、欧州中央銀行（ECB）による利上げ開始観測が浮上したことや、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて欧州経済への影響が懸念されたことなども、株価の下落要因となりました。

信託期間の半ばは、ECBの利下げ期待、AI関連銘柄を物色する流れなどが株価の上昇要因となりました。FRBの利下げ観測の後退を受けて米国株式市場が下落した局面では欧州株式市場も下落しましたが、欧州の一部企業の良い決算が株式市場を下支えしました。

信託期間の後半は、米国による関税強化に対して中国が対抗措置を発表したことを受け、世界的な景気後退への懸念が高まると、株価は下落に転じました。しかし、その後は米中の関税交渉の進

米国S&P500指数の推移



ドイツ株価指数（DAX）の推移



展を受けて投資家のリスク選好度が高まったことや、ECBの利下げ観測を背景に、欧州の株式市場は堅調に推移しました。

設定来の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

信託期間の前半は、FRBによる利上げ加速の可能性が意識される一方、日銀が大規模な金融緩和策を維持したことなどから、米ドル高・円安が進みました。しかし、その後は急激な円安が進む中、過度な円安を阻止する狙いから、政府と日銀が円買い為替介入を実施したことで、米ドル売り・円買いの動きが優勢となりました。

信託期間の半ばは、2024年3月に日銀がマイナス金利の解除を発表したものの、市場では既に織り込み済みとの見方が強かったことから米ドル高・円安が優勢となりました。また、その翌月の金融政策決定会合後で日銀が金融政策の現状維持を決定すると、一段と米ドル高・円安が進みました。

信託期間の後半は、米国の早期利下げ期待から米ドル売り・円買いの動きが強まるも、その後はFRBが利下げペースの鈍化を示した一方、日銀が利上げを見送ったことから、金融政策の方向性の対比が意識され、米ドル高・円安が優勢となりました。しかし、米国による相互関税が発表されると、安全資産とされる日本円が対米ドルで再び上昇しました。

設定来のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

信託期間の前半は、ウクライナ情勢の緊迫化からユーロ売り・円買いが一時優勢になりましたが、停戦交渉に対する期待や、ECBが金融政策の正常化を加速するとの観測のもと日欧の金利差の拡大が意識されたことなどから、ユーロは対円で堅調となりました。

信託期間の半ばは、マイナス金利政策の解除などが発表された2024年3月の日銀の会合後に円が対主要通貨で下落し、対ユーロでも円安が進行しました。また、その翌月の会合でも日銀が金融政策の現状維持を決定したことなど



が一段のユーロ高・円安につながりました。

信託期間の後半は、ECBの利下げ期待と日銀による金融政策の正常化観測を背景に、ユーロ安・円高が優勢となりました。しかし、その後はECBが利下げをしたもののタカ派的な姿勢を示した一方、日銀が利上げを見送ったことから、金融政策の方向性の対比が意識され、ユーロ高・円安が進みました。また、米中の関税交渉の進展を受けて投資家のリスク選好度が高まったことも、ユーロ高・円安の要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年10月15日～2025年7月18日)

当ファンドは、主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行いました。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年10月15日～2025年7月18日)

設定来の当ファンドのパフォーマンスはベンチマークをアンダーパフォームしました。オーバーウェイトとしたユーロ圏や生活必需品セクターにおける銘柄選択が相対パフォーマンスにプラス寄与しました。一方、米国における銘柄選択や情報技術セクターのアンダーウェイト等が相対パフォーマンスにマイナス寄与しました。

分配金

(2021年10月15日～2025年7月18日)

信託期間中における分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収益等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、これまで当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年9月18日～2025年7月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	103	0.687	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(82)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.067	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(10)	(0.065)	
（ 投 資 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	7	0.047	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(7)	(0.047)	
（ 投 資 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.064	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(2)	(0.015)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	外国株式配当に伴う税支払い等
合 計	130	0.865	
期中の平均基準価額は、14,965円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

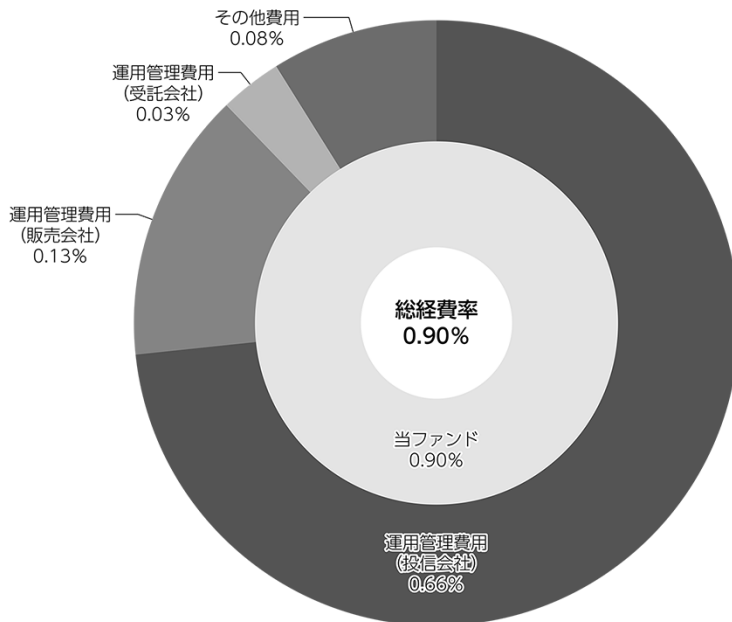
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月18日～2025年7月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	千口 347	千円 522	千口 76,242	千円 122,220

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2024年9月18日～2025年7月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	63,776,797千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	44,675,142千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.43

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月18日～2025年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2024年9月18日～2025年7月18日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年9月18日～2025年7月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年7月18日現在)

2025年7月18日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド			千口 75,895

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年7月18日現在)

項	目	償		時	
		評	価		額
コール・ローン等、その他			千円		%
			42,499		100.0
投資信託財産総額			42,499		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2025年7月18日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	42,499,035
コール・ローン等	42,496,947
未収利息	2,088
(B) 負債	133,756
未払信託報酬	133,532
その他未払費用	224
(C) 純資産総額(A-B)	42,365,279
元本	26,444,627
償還差益金	15,920,652
(D) 受益権総口数	26,444,627口
1万口当たり償還価額(C/D)	16,020円37銭

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

78,884,678円

期中追加設定元本額

363,257円

期中一部解約元本額

52,803,308円

期末における1口当たりの純資産額は1.6020円です。

○損益の状況 (2024年9月18日～2025年7月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,088
受取利息	2,088
(B) 有価証券売買損益	5,907,768
売買益	9,008,601
売買損	△ 3,100,833
(C) 信託報酬等	△ 516,466
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,393,390
(E) 前期繰越損益金	9,149,802
(F) 追加信託差損益金	1,377,460
(配当等相当額)	(530,305)
(売買損益相当額)	(847,155)
償還差益金(D+E+F)	15,920,652

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2021年10月15日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年7月18日		資産総額	42,499,035円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	133,756円
受益権口数	1,000,000口	26,444,627口	25,444,627口	純資産総額	42,365,279円
元本額	1,000,000円	26,444,627円	25,444,627円	受益権口数	26,444,627口
				1万円当たり償還金	16,020円37銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	325,055,312円	348,845,064円	10,732円	0円	0%
第2期	156,476,962	202,421,397	12,936	0	0
第3期	78,884,678	110,272,601	13,979	0	0

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	16,020円37銭
----------------	------------

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」（以下、「投信法」）の一部改正に伴い、投信法第14条第1項に規定する事項を記載した書面（運用報告書（全体版））に記載すべき事項を電磁的方法により提供できるよう、投資信託約款に所要の変更を行いました。

デジタル化推進のもと、今回の投信法及び関連規則等の改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されております。

（変更日：2025年4月1日）

ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド

運用状況のご報告

第3期 決算日 2024年9月17日

(計算期間：2023年9月16日～2024年9月17日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」の第3期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2021年9月24日設定）
運 用 方 針	主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	騰落	率	騰落	率				
(設定日) 2021年9月24日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2022年9月15日)	11,033	10.3	10,989	9.9	96.3	—	—	16,141
2期(2023年9月15日)	13,410	21.5	12,971	18.0	96.7	—	—	27,261
3期(2024年9月17日)	14,618	9.0	15,186	17.1	94.4	—	2.0	35,720

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の株式で構成されています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権は、全てMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
	騰落	率	騰落	率			
(期首) 2023年9月15日	円 13,410	% —	12,971	% —	% 96.7	% —	% —
9月末	13,230	△ 1.3	12,600	△ 2.9	97.0	—	—
10月末	12,523	△ 6.6	12,182	△ 6.1	96.1	—	—
11月末	13,304	△ 0.8	13,082	0.9	96.0	—	—
12月末	13,732	2.4	13,299	2.5	97.0	—	—
2024年1月末	14,148	5.5	14,013	8.0	96.7	—	—
2月末	14,462	7.8	14,722	13.5	96.4	—	—
3月末	15,467	15.3	15,316	18.1	96.5	—	—
4月末	15,852	18.2	15,536	19.8	98.0	—	—
5月末	15,799	17.8	15,873	22.4	96.1	—	0.7
6月末	15,879	18.4	16,805	29.6	95.2	—	0.6
7月末	15,418	15.0	15,875	22.4	97.5	—	0.6
8月末	15,006	11.9	15,588	20.2	93.1	—	1.9
(期末) 2024年9月17日	14,618	9.0	15,186	17.1	94.4	—	2.0

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年9月16日～2024年9月17日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）は、プラスとなりました。
為替要因がマイナスとなったものの、株式要因がプラスとなりました。

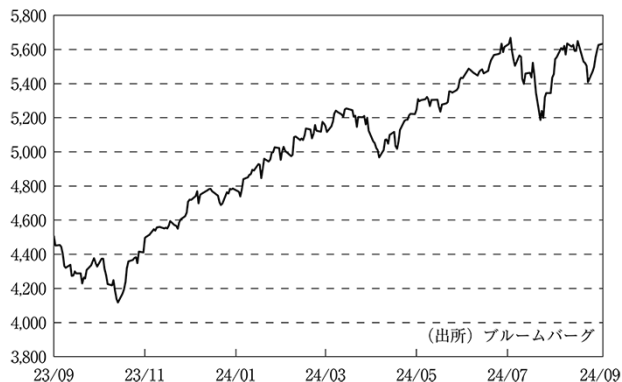
当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締め長期化観測から株価の下落が先行しました。しかし、米連邦公開市場委員会（FOMC）を経て利上げサイクルの終了と2024年の複数回の利下げへの期待が高まると、株価は上昇に転じました。

期の半ばは、米国や台湾の半導体企業の堅調な決算を受け、人工知能（AI）関連銘柄を物色する動きが強まったことが追い風となり、株価は上昇しました。一部の力強い米国経済指標を受け、FRBの利下げ期待が後退した局面では株価が下落しましたが、その後発表された弱めの経済指標から再び利下げ期待が強まると、株価は反発しました。

期の後半は、バイデン米政権が中国に対して厳しい貿易制限を検討しているとの報道を受け、米中貿易摩擦の激化懸念が強まったことや、軟調な米国経済指標を受けて景気後退懸念が浮上したことが株価の下落要因となりました。一方、パウエルFRB議長が2024年9月の利下げ開始を示唆するなどし、市場の利下げ期待が強まったことは株価の上昇要因となりました。

米国S&P500指数の推移



当期のドイツ株式相場は、上昇しました。

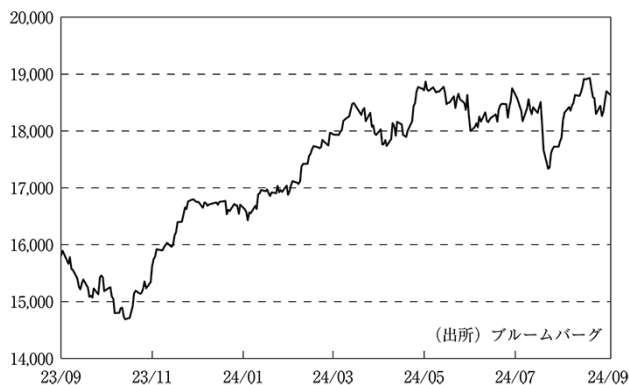
期の前半は、金融引き締め長期化観測などから欧米の国債利回りが上昇し、金利敏感セクターを中心に株価が下落したため、ドイツの株式市場では下げが先行しました。しかしその後、米国や英国、ノルウェーの中央銀行がそれぞれ政策金利の据え置きを決める中、各国中央銀行による利上げ局面が終了したとの見方が市場で強まり、株価は上昇に転じました。

期の半ばは、好調な企業決算や欧州中央銀行（ECB）の利下げ期待、AI関連銘柄を物色する流れなどが株価の上昇要因となりました。

FRBの利下げ観測の後退を受けて米国株式市場が下落した局面では欧州の株式市場も下落しましたが、欧州の一部企業の良い決算が株式市場を下支えしました。

期の後半は、米中貿易摩擦の激化懸念が強まったことや、軟調な米国経済指標を受けて景気後退懸念が浮上したことから世界的にリスク回避姿勢が広がり、欧州の株式市場は下落する場面がありました。しかし、ドイツのインフレ指標の伸びが前月から鈍化するなどし、ECBによる利下げ観測が高まると、株価は反発しました。

ドイツ株価指数（DAX）の推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、FRBによる金融引き締め長期化観測などから米ドル高・円安が先行しました。その後、低調な一部の米国経済指標やFOMCのハト派寄りの結果を背景に米国の利下げ観測が強まったことや、植田日銀総裁の発言を受けて日銀の金融政策が修正されとの見方が強まったことから、米ドル安・円高が進みました。

期の半ばは、日銀がマイナス金利の解除などを発表したものの、市場では既に織り込み済みとの見方が強かったため、実際に金融政策決定会合で修正案が発表された後は、米ドル高・円安が進みました。その翌月の会合で日銀が金融政策の現状維持を決定すると、一段と米ドル高・円安が進みました。

期の後半は、日銀が金融政策の正常化を慎重に進めようとしているのではないかと見方が市場で強まったことなどから、米ドル高・円安が優勢となりました。その後は、米ドル安・円高が急速に進んだ局面で、日本の政府・日銀が米ドル売り・円買いの為替介入を実施したとの観測が広がりました。期末にかけては、米国の早期利下げ期待から米ドル売り・円買いの動きが一段と強まりました。

当期のユーロ・円相場は、若干ユーロ安・円高となりました。

期の前半は、ECBと日銀の金融政策の方向性の違いが意識される中、ユーロ高・円安が優勢となる局面がありました。しかし、植田日銀総裁の発言を受けて日銀が早期にマイナス金利政策の解除に踏み切るとの観測が広がると、円が対主要通貨で買われる中で、対ユーロでも円高が進みました。

期の半ばは、マイナス金利政策の解除などが発表された日銀の金融政策決定会合後に円が対主要通貨で下落し、対ユーロでも円安が進行しました。その翌月の会合でも日銀が金融政策の現状維持を決定したことなどが一段のユーロ高・円安につながりました。

期の後半は、日本と欧州の金利差に着目したユーロ買い・円売りの動きが一時優勢となりました。その後は、ECB高官の発言を受けECBが追加利下げに動くとの見方が強まったことに加え、日銀が金融政策の正常化を進めるとの観測が強まり、ユーロ安・円高が優勢となりました。



当ファンドのポートフォリオ

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行いました。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドのパフォーマンスはベンチマークをアンダーパフォームしました。オーバーウェイトとしたユーロ圏や生活必需品セクターにおける銘柄選択等が相対パフォーマンスにプラス寄与しました。一方、米国株式や情報技術セクターをアンダーウェイトとしたことが相対パフォーマンスにマイナス寄与となりました。

○今後の運用方針

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指してまいります。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行います。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指してまいります（ただし、この目標の達成を約束するものではありません）。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月16日～2024年9月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 証 券)	円 11 (11) (0)	% 0.079 (0.076) (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 証 券)	8 (8) (0)	0.056 (0.056) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他 1) (そ の 他 2)	6 (6) (0) (0)	0.042 (0.040) (0.001) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 外国株式配当に伴う税支払い等 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	25	0.177	
期中の平均基準価額は、14,568円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月16日～2024年9月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 1,162 (76)	千円 1,357,955 (-)	千株 901	千円 1,516,847
	アメリカ	百株 15,870 (△ 237)	千米ドル 73,668 (-)	百株 12,971	千米ドル 58,025
外 国	カナダ	1,456 (624)	千カナダドル 9,225 (-)	445	千カナダドル 2,639
	ブラジル	31,226	千ブラジルレアル 49,310	2,224	千ブラジルレアル 5,504
	チリ	61,346	千チリペソ 626,602	9,627	千チリペソ 104,877
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	850	4,541	1,292 (-)	3,094 (66)
	フランス	1,559	11,984	1,463	12,443
	オランダ	370	833	1,767	5,052
	スペイン	3,430	1,298	4,127	1,818
	イギリス	14,651	千イギリスポンド 11,911	15,349	千イギリスポンド 6,392
	スイス	94	千スイスフラン 926	46	千スイスフラン 433
	スウェーデン	898	千スウェーデンクローナ 16,331	3,955	千スウェーデンクローナ 32,654
	ノルウェー	3,396	千ノルウェークローネ 64,890	1,169	千ノルウェークローネ 22,433
	オーストラリア	5,513	千オーストラリアドル 2,900	426	千オーストラリアドル 243
	韓国	154	千韓国ウォン 1,851,351	482	千韓国ウォン 4,596,734

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
	ANNALY CAPITAL MANAGEMENT IN	1,845	3,656	—	—
	小 計	1,845	3,656	—	—
国	メキシコ		千メキシコペソ		千メキシコペソ
	TRUST FIBRA UNO	12,899	32,496	408	929
	小 計	12,899	32,496	408	929

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2023年9月16日～2024年9月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	39,443,938千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	30,995,286千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.27

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月16日～2024年9月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年9月17日現在)

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価	額
		千株	千株		千円
医薬品（－％）					
小野薬品工業		70.7	—		—
機械（－％）					
ナブテスコ		89.5	—		—
電気機器（－％）					
村田製作所		21.3	—		—
小糸製作所		90.2	—		—
倉庫・運輸関連業（－％）					
上組		31.8	—		—
情報・通信業（20.7％）					
日本電信電話		2,317.4	2,808.2		416,736
卸売業（16.4％）					
メディopalホールディングス		99.4	127.2		329,448
小売業（43.7％）					
ネクステージ		119.5	161.6		285,062
しまむら		24.4	74.8		593,837
イズミ		41.3	—		—
不動産業（19.2％）					
オープンハウスグループ		—	70.7		387,577
合 計	株 数 ・ 金 額	2,905	3,242		2,012,661
	銘 柄 数 < 比 率 >	10	5		< 5.6% >

(注) 銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

外国株式

銘柄	株数	当 期 末				業 種 等
		株数	株数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株		千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	575	814		6,809	958,639	一般消費財・サービス
ALLSTATE CORP	214	248		4,731	666,068	金融
ALPHABET INC-CL A	168	200		3,173	446,782	コミュニケーション・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	386	673		5,664	797,363	コミュニケーション・サービス
BANCO DE CHILE-ADR	602	512		1,281	180,380	金融
BAXTER INTERNATIONAL INC	709	847		3,410	480,028	ヘルスケア
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	57	—		—	—	金融
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	275	—		—	—	ヘルスケア
CVS HEALTH CORP	678	1,017		5,939	836,111	ヘルスケア
CITIGROUP INC	642	973		5,681	799,763	金融
CONOCOPHILLIPS	201	236		2,496	351,472	エネルギー
CROWN HOLDINGS INC	239	285		2,640	371,635	素材
DELTA AIR LINES INC	907	1,474		6,680	940,367	資本財・サービス
DENTSPLY SIRONA INC	—	1,354		3,533	497,385	ヘルスケア
WALT DISNEY CO/THE	300	388		3,572	502,888	コミュニケーション・サービス
DOLLAR GENERAL CORP	—	471		4,038	568,545	生活必需品
EXELIXIS INC	458	—		—	—	ヘルスケア
FMC CORP	—	971		6,152	866,053	素材
FEDEX CORP	101	122		3,589	505,362	資本財・サービス
GENERAL MOTORS CO	591	—		—	—	一般消費財・サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	371	592		6,582	926,601	金融
KROGER CO	755	1,065		5,986	842,717	生活必需品
MICRON TECHNOLOGY INC	476	—		—	—	情報技術
NEW YORK COMMUNITY BANCORP	2,725	—		—	—	金融
ON SEMICONDUCTOR	—	593		4,172	587,424	情報技術
SCHWAB (CHARLES) CORP	349	—		—	—	金融
SIRIUS XM HOLDINGS INC	—	1,224		2,894	407,462	コミュニケーション・サービス
T-MOBILE US INC	242	211		4,353	612,903	コミュニケーション・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	361	214		3,634	511,587	情報技術
TARGET CORP	136	166		2,537	357,153	生活必需品
TERADYNE INC	255	—		—	—	情報技術
TRIP.COM GROUP LTD-ADR	663	—		—	—	一般消費財・サービス
TYSON FOODS INC-CL A	410	409		2,530	356,275	生活必需品
VIATRIS INC	1,212	1,481		1,749	246,215	ヘルスケア
WELLS FARGO & CO	796	409		2,202	310,066	金融
XCEL ENERGY INC	—	504		3,258	458,767	公益事業
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	79	—		—	—	ヘルスケア
MEDTRONIC PLC	348	409		3,690	519,518	ヘルスケア
ROYALTY PHARMA PLC- CL A	—	676		1,910	268,923	ヘルスケア
WILLIS TOWERS WATSON PLC	107	126		3,706	521,787	金融
AERCAP HOLDINGS NV	554	761		7,153	1,007,002	資本財・サービス
COPA HOLDINGS SA-CLASS A	—	179		1,614	227,260	資本財・サービス
小 計	株数	金額		127,375	17,930,515	
	銘柄数	比率		—	<50.2%>	
(カナダ)				千カナダドル		
CANADIAN NATURAL RESOURCES	572	1,300		5,714	591,830	エネルギー
MTY FOOD GROUP INC	276	—		—	—	一般消費財・サービス

銘柄	株数	期首(前期末) 当期 期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円		
MAGNA INTERNATIONAL INC	—	1,184	6,458	668,845	一般消費財・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	848 2	2,485 2	12,173 —	1,260,675 <3.5%>	
(ブラジル)			千ブラジルレアル			
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP	—	5,581	12,557	320,572	一般消費財・サービス	
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF	4,880	5,592	20,693	528,275	金融	
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS	4,528	7,588	20,943	534,676	不動産	
AMBEV SA	—	19,649	25,268	645,086	生活必需品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,408 2	38,411 4	79,463 —	2,028,612 <5.7%>	
(チリ)			千チリペソ			
BANCO DE CHILE	65,556	117,275	1,345,146	205,007	金融	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	65,556 1	117,275 1	1,345,146 —	205,007 <0.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
DHL GROUP	512	688	2,725	426,732	資本財・サービス	
VOLKSWAGEN AG-PREF	—	239	2,183	341,752	一般消費財・サービス	
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	1,749	892	2,407	376,932	コミュニケーション・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,261 2	1,819 3	7,316 —	1,145,418 <3.2%>	
(ユーロ…フランス)						
SEB SA	162	170	1,588	248,655	一般消費財・サービス	
KERING	50	—	—	—	一般消費財・サービス	
SANOFI	—	291	3,010	471,332	ヘルスケア	
TELEPERFORMANCE	—	379	3,783	592,294	資本財・サービス	
BNP PARIBAS	835	1,134	7,180	1,124,058	金融	
COMPAGNIE DE SAINT GOBAIN	830	—	—	—	資本財・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,880 4	1,975 4	15,562 —	2,436,340 <6.8%>	
(ユーロ…オランダ)						
KONINKLIJKE PHILIPS NV	1,076	—	—	—	ヘルスケア	
AALBERTS NV	321	—	—	—	資本財・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,397 2	— —	— —	— <-1%>	
(ユーロ…スペイン)						
BANCO SANTANDER SA	11,250	10,553	4,686	733,650	金融	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,250 1	10,553 1	4,686 —	733,650 <2.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	16,790 9	14,349 8	27,565 —	4,315,409 <12.1%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
BARRATT DEVELOPMENTS PLC	2,386	7,553	3,840	713,627	一般消費財・サービス	
BELLWAY PLC	—	568	1,780	330,816	一般消費財・サービス	
BP PLC	6,602	9,022	3,664	680,970	エネルギー	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	—	808	3,704	688,477	生活必需品	
TESCO PLC	9,830	—	—	—	生活必需品	
GSK PLC	1,977	2,146	3,502	650,877	ヘルスケア	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	20,795 4	20,097 5	16,491 —	3,064,769 <8.6%>	
(スイス)			千スイスフラン			
NESTLE SA-REG	258	306	2,663	443,592	生活必需品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	258 1	306 1	2,663 —	443,592 <1.2%>	

銘柄	株数	株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(スウェーデン)	百株	百株	千スウェーデンクローナ	千円		
AUTOLIV INC-SWED DEP RECEIPT	233	—	—	—	一般消費財・サービス	
HUSQVARNA AB-B SHS	3,106	—	—	—	資本財・サービス	
AUTOLIV INC-SWED DEP RECEIPT	—	282	27,170	375,490	一般消費財・サービス	
小 計	株数・金額	3,339	282	27,170	375,490	
	銘柄数<比率>	2	1	—	<1.1%>	
(ノルウェー)			千ノルウェークローネ			
SUBSEA 7 SA	782	—	—	—	エネルギー	
MOWI ASA	—	1,581	29,564	392,619	生活必需品	
DNB BANK ASA	973	2,401	51,578	684,961	金融	
小 計	株数・金額	1,755	3,982	81,143	1,077,580	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.0%>	
(オーストラリア)			千オーストラリアドル			
QANTAS AIRWAYS LTD	—	5,087	3,576	339,341	資本財・サービス	
小 計	株数・金額	—	5,087	3,576	339,341	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.9%>	
(韓国)			千韓国ウォン			
HYUNDAI MOTOR CO	136	135	3,199,500	341,386	一般消費財・サービス	
LG CORP	669	342	2,878,176	307,101	資本財・サービス	
小 計	株数・金額	805	477	6,077,676	648,488	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<1.8%>	
合 計	株数・金額	136,515	222,371	—	31,689,481	
	銘柄数<比率>	59	59	—	<88.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当 期 末		比 率	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百口	百口	千ドル	千円	%	
ANNALY CAPITAL MANAGEMENT IN	—	1,845	3,845	541,345	1.5	
小 計	口数・金額	—	1,845	3,845	541,345	1.5
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.5%>	
(メキシコ)			千メキシカンペソ			
TRUST FIBRA UNO	—	12,491	28,042	205,221	0.6	
小 計	口数・金額	—	12,491	28,042	205,221	0.6
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.6%>	
合 計	口数・金額	—	14,336	—	746,567	
	銘柄数<比率>	—	2	—	<2.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年9月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 33,702,143	% 93.5
投資証券	746,567	2.1
コール・ローン等、その他	1,615,111	4.5
投資信託財産総額	36,063,822	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(33,188,144千円)の投資信託財産総額(36,063,822千円)に対する比率は92.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月17日における邦貨換算レートは、1米ドル=140.77円、1カナダドル=103.56円、1メキシコペソ=7.3183円、1ブラジルレアル=25.5289円、100チリペソ=15.2405円、1ユーロ=156.55円、1イギリスポンド=185.84円、1スイスフラン=166.57円、1スウェーデンクローナ=13.82円、1ノルウェークローネ=13.28円、1ポーランドズロチ=36.5968円、1オーストラリアドル=94.89円、100韓国ウォン=10.67円、1南アフリカランド=7.98円です。

○特定資産の価格等の調査

(2023年9月16日～2024年9月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	36,687,652,909
コール・ローン等	1,238,460,630
株式(評価額)	33,702,143,382
投資証券(評価額)	746,567,772
未収入金	918,503,446
未収配当金	81,974,835
未収利息	2,845
(B) 負債	967,441,600
未払金	954,533,937
未払解約金	12,907,663
(C) 純資産総額(A-B)	35,720,211,309
元本	24,436,426,678
次期繰越損益金	11,283,784,631
(D) 受益権総口数	24,436,426.678口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,618円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	20,328,295,878円
期中追加設定元本額	8,166,707,486円
期中一部解約元本額	4,058,576,686円
期末における1口当たりの純資産額は1.4618円です。	

(注) 期末における元本の内訳

ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)	24,360,531,191円
ブランディワイン・グローバル株式ファンド(SMA専用)	75,895,487円

○損益の状況 (2023年9月16日～2024年9月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	898,275,307
受取配当金	868,245,116
受取利息	29,819,821
その他収益金	470,728
支払利息	△ 260,358
(B) 有価証券売買損益	2,300,023,413
売買益	6,371,110,351
売買損	△ 4,071,086,938
(C) 保管費用等	△ 13,499,665
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,184,799,055
(E) 前期繰越損益金	6,932,902,435
(F) 追加信託差損益金	3,206,300,719
(G) 解約差損益金	△ 2,040,217,578
(H) 計(D+E+F+G)	11,283,784,631
次期繰越損益金(H)	11,283,784,631

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

運用の基本方針のうち「見通しに基づいて米ドルを基準として相対的な魅力度を判断して、外国為替の予約取引等を通じて個別株式選択の結果とは異なる通貨配分とする場合がある」としていた為替戦略部分を削除する変更を行いました。また、デリバティブ取引の利用目的を明確化し、価格変動などのリスクを回避するため並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現するための利用に限定する変更を行いました。

(変更日：2024年1月26日)